

第1回南陽市立荻小学校・宮内小学校統合準備委員会議録（概要）

日時：令和5年5月23日（火）

午後6時30分～8時10分

場所：宮内公民館 2階 中会議室

○委嘱状交付 教育長より、川合和恵氏へ代表して交付

○教育長挨拶

- ・委員の意見を通じて、荻小、宮小の子どもたちが不安や疑問がなく、よりよい教育環境を提供していくよう検討していく会である。
- ・今年には既に、両校間の交流事業を計画して実施している。
- ・それぞれの歴史や文化を大事にしながら、それをどのように継承発展させていくかもこの場でお話いただきたい。
- ・教育委員会事務局としても全力で取り組んでいく。

○自己紹介

○要綱の説明 ～ 正副委員長の選出

（1）教育委員会管理課長から、南陽市立小学校統合準備委員会設置要綱の説明があった。

- ・荻小学校の子供たちや保護者の不安を取り除き、宮内小学校の子供たちが安心して荻小学校の子供たちを受け入れることが出来るよう、統合までの課題を話し合う会を設定するために本要綱を制定することが説明された。
- ・要綱でうたう所掌事務の内容の説明を行った。

（2）要綱についての説明後、委員の互選により統合委員会委員長・副委員長が以下のとおり選出された。

- ・委員長 川合和恵 氏（荻小PTA会長）
- ・副委員長 我妻孝徳 氏（宮小PTA会長） 互選により両名に決定

○経過報告 これまでの経緯及び荻小学校の現状について

学校教育課長から、南陽市教育委員会が開催した「教育を語る会」の経緯や荻小学校の現状について報告が行われた。

現状、荻小学校は誰も在籍しない学年や、1名しか在籍しない学年があり、大きく児童が減少している状況。

そのような中、児童数の推移を見通しながら、子供たちにとってよりよい教育環境のあり方について話し合う「教育を語る会」を平成29年度から実施してきたが、その中で、一定規模、一定の人数がある学校で学ぶという教育環境が望ましいという意見が保護者から寄せられたこともあり、令和5年1月に市長や教育委員を交えて行われた「総合教育会議」において、令和6年度から荻小学校の子供たちは宮内小学校へ通うことが決定となった旨の説明があった。

○協議内容（発言は要旨）

今回の会議では学校教育課長が座長となり協議を進めた。

【統合に向けた準備部会での話し合いについて】※管理課長説明

統合に向けた準備委員会での話し合いについて説明。

進め方としては、話し合う内容が多岐に渡るため、要綱には明記はしないものの部会制をとることとし、「総務部会」「PTA部会」「教育課程部会」「整備部会」の4部会をつくり、それぞれの委員による協議をおこなうことを提案。

総務部会では、主に体育着や記念行事について話し合いを進める。

PTA部会では、PTAの会則や組織運営、徴収金額の調整等についての話し合い。

教育課程部会では教育課程のほか、学校間の交流事業等に関する話し合い。

整備部会では、スクールバスの運行ルートや時間等について話し合いを行う。

今後のスケジュールについては毎月1回程度の定期開催を前提とした説明を行ったものの、開催の時期や間隔については会議の進み具合を考慮しながら決めていく旨説明。

統合に関連する市の予算については、9月補正に提案するよう副市長からの指示があることから、必要な予算については部会ごとに優先的に協議してほしい旨説明。

各部会ごと話し合った結果は、委員会全体で報告していただき共有をはかる。

まずは、部会ごと話し合う形式が適切かどうかを含め、参加者の意見を求めた。

(出された主な質問・意見)

(質問)

Q. 部会制を取ること、及び部会は作るものの、基本ここにいる委員全員で話していこうという話になったわけだが、部会の構成員を定める必要は無いのか。

A. 部会の構成員はこの場で決めていただく必要がある。

P T A部会に「入らなくてもいい」委員がいるかもしれないし、教育課程部会に「入らなくてもいい」委員がいるかもしれないので、実際に話し合っただくメンバーは新たなメンバーを求めるのではなく、この委員の中から決める。

P T A部会、教育課程部会については既に学校間で先行してやっている部分もあるので、学校間で進めてもらい、統合委員会の場で報告してもらう。

なお、総務部会、整備部会については、新たな会議の場を設置するのではなく、この場で全員で協議する。

Q. 委員に各公民館の館長が入っているということは「地域の代表としてご意見をいただく」ということで意味がある。例えば地区公民館運営委員会の場で、校歌をどうするか等、地域の声をどこかで聞く場を作っていくべきなのかなと考えるが、事務局として考えはあるか。

A. 地域の方々への説明をする機会、並びにご意見を頂戴する機会は設けないといけないと考えている。例えば、「統合委員会だより」等を発行し「今はこういうことを話している」というような内容をお知らせしていくことを考えている。

Q. 地区公民館と学校の連携は不可欠で、地区運動会や文化祭等に子供たちから参加してもらったりしているが、荻小学校が休校になることで今後の連携が心配。

そういった「地区とのかかわりの協議の場」というものはこの委員会において検討する機会はあるのか。

A. 統合準備委員会の趣旨と少し離れてしまう部分については、どういうあり方が必要かということをお社会教育課とも情報共有し相談していく。この場でないところになるかもしれないが、何かしらリアクション出来るようにしたい。

(意見)

・荻小のある吉野地区のみならず、宮内でも子供は激減している。その中で、新しい友達が出来て一緒に勉強できるとか、大きな学校で学べる等、前向きな統合であってほしい。その一方で「学校が無くなった後の地域をどうするか」ということを話すのは大事な事。そういったことを考える場はここでなくとも是非設けてほしい。

→(回答) 学校が無くなった後の地域をどうしていくかということは、その地域のグランドデザイン的な話をする必要があるので、統合委員会という場にはなじまないかもしれないが、ここで出た話は市の担当課へは伝えたい。

また、教育課程部会では各校間の交流事業を進めているということもあるので、共有をはかることも考える。

・話題は多岐にわたるが、決めていかなければならないことは着々と決めていって良いと思う。

【荻小と宮内小間で今年度実施している交流事業について】※荻小学校長説明

・荻小学校では、宮内小学校との統合を見据え、令和5年度より始業時刻や中間

休みの時間等について、宮内小学校のそれに合わせて実施をしている。

・令和5年度は、自然体験学習、学習発表会、運動会などの校外行事を含めて、極力宮内小学校と一緒に実施をすることとしている。（入学式、創立記念式、卒業証書授与式については学校単独で実施）

・学期ごと、1週間ずつの「交流ウィーク」というものを設けて、上記の行事の準備等を一緒に行ったり、実際の一週間、宮内小に通学し交流をしたりということとを計画している。

（質問・意見等は無し）

【体育着・ロッカー引き出し箱・給食着についての協議】

（体育着）

・荻小学校の保護者としては、来年度以降は宮内小学校の体育着に揃えたい。

また、現在の荻小学校1年から5年生分までは、宮内小に合わせるための分については市で負担をお願いしたい。

・宮内小学校としては、例えば転校生が来た時の対応は、必ずしも宮内小学校のものに揃える必要は無く、本人さえよければ手持ちのものを使っても良い旨対応しているが、保護者の意向に合わせる。

（ロッカーの引き出し箱）

・宮内小学校では、学年行事としてロッカー（各自分）の中に個人個人ごと、引き出し箱を作成している。

・荻小学校の保護者としては、上記の体育着と同様、必要なものについては市の負担で揃えてほしい旨の意見が出されている。

（給食着）

・宮内小学校では、給食着についても個人で購入してもらい対応している。

（体育着、ロッカーの引き出し箱、給食着について市担当の回答）

- ・市としては、9月補正を視野に入れていることから、要望に対して対応が可能かどうかについて、6月中旬に答えを出す予定。

【「休校」についての協議】

(質問及び回答)

Q. 今回の荻小学校は「休校」。これはどのように捉えたら良いのか。

将来的に地域の子供たちが増えた場合、復校ということも視野に入っているのか。

A. 休校期間中に、後者の後利用等について協議する期間ということで認識している。今年度は、荻小学校と地域の皆さまとで、休校式の式典等について実施していく。

なお現状、学校として復活するような含みを持たせているということではない。

【校歌、校章に関しての協議】

(質問及び回答)

Q. 校歌・校章についての扱いをどうしていくべきか。

A. 3月に市報へ掲載した統合の記事については、荻小学校の子供は宮内小学校へ通うことになることと記載していることから、基本的に校歌・校章については宮内小の今あるものをお使いいただくということで進めて良いかどうか、地域の方々のご意見を何らかの機会に聴取することも必要と考えている。

Q. 地域の方の意見を聴くということについて、学校単位でそういう場を設ける必要があるということか。

A. 特に荻小学校については、校歌・愛唱歌の扱いについて、統合準備委員会からの投げかけを機会として話していただければと考えている。

(質問及び回答を受けての意見)

- ・ 荻小学校の保護者としては、令和6年度から宮内小学校に行かなければならない
ということを中心に考えている。

また、旧小滝小の校歌を愛唱歌として歌っているが、例えば荻小の校歌を宮内小の愛唱歌にしてもらおうとした場合でも、旧小滝小の校歌をも宮内小で歌ってもらおうというのは正直無理な話ではないかと思う。

校章や校歌の話は、むしろ地域の問題になるのではないか。

- ・ 校歌とは「学校そのもの」の側面があるのではないか。

保護者は統合に向けて動いているが、地区の住民にとっては、小学校が無くなる
というのはすごい大きいこと。校章、校歌は何らかの形で残して、何らかの後利
用で荻小学校の校舎や敷地を使った行事をするときに披露するようにできない
か。

そういったことを踏まえ、教育委員会として、何らかの提案を行っては。

(意見に対する市側の回答)

全ての人に納得してもらえる方法は難しいかもしれないが、学校とも協議しな
がら何らかの形で提案できるかどうかを検討する。

【過去や他市町で行われた合併、統合の情報提供について】

(意見)

過去の中学校の統合や、近隣市町の小学校統合の経過や課題などの情報があれ
ば参考になるのでは。

○その他

【スクールバスの扱いについて】※管理課長提案

スクールバスの運用については、協議が必要なものについては、対PTA、対

誰々というように個別に協議しながら、学校と教育委員会を中心に進めていってはどうか。もちろん、進捗については統合委員会に都度情報共有しながら行う。

さまざまな要望があると思うが、出来る範囲のこと、対応できるものは対応していくよう努力する。

(提案に対する意見)

- ・スクールバスは特に荻小の保護者が気になる内容。特に出発時刻など。建付けをする際は是非そのあたりをフォローしてほしい。
- ・スクールバスは金山の子もおり意見集約も必要なので、いつどんな話をするかという見通しをもって進めてもらいたい。

○次回委員会の日程について

- ・ 6月22日(木) 午後6時30分～ 宮内公民館

(閉会)